

令和４年度 事業評価書

会計区分	03	介護保険会						事業主体	01800000	市民福祉部 高齢福祉課			
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	03	地域支援事業費		02	一般介護予防事業費		01	一般介護予防事業費	
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合					目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%		
中事業	02	主要な取り組み	介護のいないライフプラン										
小事業	02	介護予防普及啓発事業		目標年度	令和6年度								



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	少子高齢化社会の伸展により、できる限り住み慣れた地域で自立した生活を送れることは課題である。要介護認定率は年々上昇しており、令和4年3月時点で15.8%となっている。今後も少子高齢化の伸展に伴いその割合は上昇していくと思われ、高齢者の社会参加となる通いの場の創出を促し、要介護状態の先送りや悪化防止が課題である。				
	事業目的	(1) 対象(誰、何を対象にしていますか) 高齢者(65歳以上の者) (2) 目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等を開催することで、高齢者の介護予防に対する意識が向上し、いつまでも住み慣れた地域で自立した生活をおくる高齢者が増加する				
	事業概要	高齢者を対象に、介護予防の普及啓発に資する身体機能向上、認知機能向上、栄養改善、口腔機能向上、閉じこもり予防を目的とした教室等を実施し、高齢者の社会参加の促進や要介護・要支援認定に至らない高齢者の増加を図る。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	3,672	1,794	1,669		
	決算額	809	647	1,144		
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	519 / 0				



アウト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	介護予防教室等の開催数	目標値	6	6	6		
		実績値	0	6	6		



アウト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	介護認定を受けずに生活している 高齢者の割合	目標値	85.7	85.7	84		
		実績値	84.3	84	84.1		

実
績

効
果



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	例年どおり、委託先の長寿支援センターの実施可能な範囲内で開催することができた。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	高齢化の伸展に伴い、今後も要介護認定者の増加が予想されるが、少しでも認定を先送りできるよう引き続き介護予防の普及啓発を推進していく必要がある。
	実績からR05年度の 事業の方向性	従来の実施方法にとらわれず、各地域の実情に応じて実施方法を検討し、より効果的な内容となるよう長寿支援センターと協議しつつ実施につなげる。 3つの介護予防事業の小事業を一本化して実施していく。

令和４年度 事業評価書

会計区分	03	介護保険会					事業主体	01800000	市民福祉部 高齢福祉課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	03	地域支援事業費	02	一般介護予防事業費		01	一般介護予防事業費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	02	主要な取り組み	介護のいらないライフプラン								
小事業	03	地域介護予防活動支援事業		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	少子高齢化の伸展に伴い、できるだけ自立した生活を送ることができるよう、介護予防に資するボランティア活動や通いの場の活用等とおした生きがいつくりの推進が課題となっている。令和3年4月～令和4年4月の要介護認定者のサービス未利用者の割合は、要支援1が54.1%、要支援2が38.9%、要介護1が23.2%と要介護度が低いほど高くなっており、ここに当たる人の状態の悪化防止のためにも、自立支援に向けた支援が課題となっている。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 65歳以上の高齢者及びその活動を支援する人 (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 介護予防に資するボランティア活動や住民主体で運営される通いの場等に対する支援の実施をすることで、地域住民が主体となって実施する介護予防活動による通いの場の充実と生きがいつくりの推進につながり、介護予防活動と社会参加・生活支援が融合した、高齢者の暮らしやすい地域づくりと活動的な高齢者の増加による健康寿命の延伸及び介護給付費の抑制ができる。				
	事業概要	地域の中で高齢者自身が主体となって実施する介護予防活動の育成と支援を行い、ボランティア活動を通じた生きがいつくり及び高齢者の通いの場の充実を図る。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	16,116	16,966	16,154		
	決算額	12,795	14,221	15,167		
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	202 / 0				

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	活動している自主サークルの数	目標値	41	39	47	
		実績値	39	45	48	

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	介護認定を受けずに生活している 高齢者の割合	目標値	85.7	85.7	84	
		実績値	84.3	84	84.1	



実 績	実 績	介護支援ボランティア 登録者638人、登録施設41施設、活動回数269回 地域介護予防活動支援補助 設立率団体3団体(全48団体) ふれあい・いきいきサロン補助事業
	効 果	地域における高齢者の自発的な介護予防活動の推進や交流機会の充実を図ることができた。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	介護予防教室後に自主サークル化につながった回とそうでない回があるが、地域の実情に応じた自主的な活動に資する支援ができたと考えている。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	高齢化の伸展に伴い、今後も要介護認定者の増加が予想されるが、少しでも認定を先送りできるよう、引き続き介護予防に資する自主的な活動の支援が必要である。
	実績からR05年度の 事業の方向性	地域の実情に応じて、住民が通い続けることのできる場として自主サークル活動の継続を目指し活動費用の補助、生きがいつくりに資するボランティア活動を支援していく。 3つの介護予防事業の小事業を一本化して実施していく。

令和4年度 事業評価書

会計区分	03	介護保険会					事業主体	01800000	市民福祉部 高齢福祉課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	03	地域支援事業費	02	一般介護予防事業費		01	一般介護予防事業費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	02	主要な取り組み	介護のいないライフプラン								
小事業	04	介護予防把握事業等			目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	少子高齢化の伸展や独居高齢者の増加等に伴い、閉じこもりがちの高齢者に対し早期に介護予防に資する支援を行ったり、高齢者が有する能力をできるだけ維持または向上できるような介護予防に専門的な立場からの助言等の支援が求められている。平成26年に市が実施した基本チェックリストの回答者について5年後の認定状況を追跡したところ、「運動」と「栄養」の項目に該当している人が該当していない人と比べて、3.12倍要介護状態になりやすかったことが分かった。このことから、介護予防につながる社会参加の促進とともに、「運動や「栄養」面への取組みを強化していくことが課題である。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 高齢者(65歳以上の者) (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) ・予防リスクに関するアンケート調査をすることで、高齢者の健康状態等を経年的に把握できる。 ・住民主体の介護予防活動等に対するリハビリテーション専門職の派遣をすることで、地域における介護予防の取組の機能強化ができる。				
	事業概要	・要介護リスクが高まる年齢層を中心にアンケート形式の調査を行って、高齢者の実情を把握する。 ・リハビリテーション専門職等の活用により、地域で行われる住民主体の介護予防活動等の機能強化を行う。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	5,340	4,402	4,359		
	決算額	2,067	864	1,106		
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	504 / 0				

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	リハビリテーション専門職等派遣 事業利用団体数	目標値	30	28	30	
		実績値	19	32	32	

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	介護認定を受けずに生活している 高齢者の割合	目標値	84	80	84	
		実績値	84.3	84	84.1	



実 績	実 績	・心と体の健康チェック(70歳～80歳：介護保険申請者・認定者・総合事業利用者は除く)550人へ発送 ・リハビリテーション専門職派遣 32団体
	効 果	自主サークル団体へリハビリテーション専門職を派遣したことで、日頃の介護予防活動に加えより効果的な取組の実施へと活かされていくと思われる。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	自主サークル団体数の増加に対しリハビリテーション専門職の派遣事業を利用した団体数が少ないが、独自で自主サークルに講師を派遣している団体もあることが要因の一つとして考えられる。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	高齢化の伸展に伴い、今後も要介護認定者の増加が予想されるが、少しでも認定を先送りできるよう、引き続き介護予防に資する自主的な活動の支援が必要である。
	実績からR05年度の 事業の方向性	リハビリ専門職に加え、栄養士の派遣について検討し、導入に向けた準備を進める。 3つの介護予防事業の小事業を一本化して実施していく。